



田原 実
議員

質問

定住促進と人口増大への対応、糸魚川市の現状と課題について

第2次糸魚川市総合計画における人口問題・定住促進について伺う。また、他市町村と比較して成果をあげていることについて伺う。

▼市長答弁

第2次総合計画では、30年先も持続可能なまちづくりとして人口減少対策を重点課題としている。昨年度策定した総合戦略を着実に推進し、移住定住対策に取り組むことにより、年齢構成バランスの改善を図っていく。

今年度からスタートした修学資金返済支援や新幹線通学支援などは当市の現状に即した事業であり、また、匠の里プロジェクト事業はエリアを指定しての募集で、移住者確保とその後の活動に期待が持てる事業であると思っている。

質問

権現荘問題について

- (1)内部監査制度による権現荘の実態調査報告書では明らかにされていない経営実態、食材仕入れの会計処理について伺う。
- (2)①支配人による特別客室の使用、②特定客への接待、③館内スナックの利用と飲食費の負担など、公の宿の私物化とも思える事態について伺う。

▼市長答弁

- (1)経営実態については内部監査でおおむね調査されたものと考えている。また、食材の会計処理については、商品の発注、納品・在庫の確認、納品書と請求書のチェックについては権現荘で行い、支払手続は能生事務所で行っている。
- (2)①宿泊者の安全を確保するためにやむを得ず宿泊する際に使用していたものである。②利用者に対するサービスは、支配人の裁量でリピーターを増やすためにおもてなしの一環として行ったものであるが、一定の基準が必要であったと感じている。③スナックの利用については、1人当たり2,000円の負担で申込みいただいている。

その他質問項目

- 交流観光・都市交流と人口増大への対応、糸魚川市の現状と課題について



新保 峰孝
議員

質問

権現荘の課題と対策、今後について

- (1)能生自然教育センターから始まった権現荘は、次第に公共的性格がなくなり、一般的な旅館のようになってきている。市が経営する目的をどのように考えているか。
- (2)今後、直営をやめて指定管理に移行する予定となっているが、現在の赤字分を指定管理料に置き換えるだけになりかねない。現状と指定管理、民営化についてどのように考えているか。
- (3)経営再建のために民間から支配人を採用して8年目となっているが、赤字はさらに悪化している。民間的手法とはどのようなものか。
- (4)市が旅館を経営する時代ではない。市は旅館経営から手を引き、市内の旅館・ホテル・民宿支援にこそ力を入れるべきではないか。

▼市長答弁

- (1)引き続き都市と農山村の交流促進及び地域住民の福祉向

質問

災害対策について

- (1)8月23日未明を中心に降った大雨により、根知地域を中心に山間部に土砂崩れや床上浸水等の被害が出たが、今回の災害の特徴をどのように捉えているか。
- (2)局地的豪雨に対する対策について、特に土砂崩れ、排水対策についてはどのように考えているか。

▼市長答弁

- (1)今回の災害の特徴としては、22日夜半から23日の朝方にかけて、短時間の強い雨により、山間部において小規模な土砂崩れ、床上浸水等の被害が多く発生したものである。
- (2)土砂災害警戒情報や河川防災情報等により避難情報等を発信し、市民の生命の安全確保に努めていく。

その他質問項目

- 地域医療構想と糸魚川市の医療について
- 学校給食の無料化について